

8月10日(日)発行

MUZA  
KAWASAKI  
SYMPHONY HALL

ほほ

# 日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza

朝刊



8/9 日本フィルハーモニー交響楽団

© 池上直哉

下野竜也が日本フィルを率い、多彩な音楽世界をひとつの舞台で描き出した。

小山清茂「管弦楽のための謡歌(ひなうた)第2番」は作品の真価を知らしめる名演。第1曲〈和讃〉ではチェロの深みある旋律が民間信仰のひたむきさを表し、第4曲〈豊年踊り〉は和太鼓も加わり、祝祭の高揚と熱気を力強く描いた。下野はプレトークで、小山が西洋音楽に向かわず、日本を見つめ、自らの言葉として作曲したことへの敬意と感謝を述べた。

サン＝サーンス「チェロ協奏曲第1番」はフランスの香りとは趣を異にし、宮田大が骨太で雄大な演奏を展開。下野日本フィルも歩調を合わせ、引き締まった響きで宮田を完璧に支えた。アンコールはサン＝



© 池上直哉

サーンス《白鳥》。威厳ある姿が浮かんだ。

2007年から12年にかけて「ドヴォルザーク交響曲全曲演奏シリーズ」を読響と行った下野は、第8番も得意曲。強弱と緩急を練り上げ、構成の確かさと堂々たるスケールを両立。切れ味ある緻密な響き、抒情豊かな旋律の歌わせ方、豪快なクライマックスとの対比が鮮烈。トランペット、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルンなど、日本フィル各奏者の見事なソロも際立った。最後の激しい和音が終わるや、盛大な拍手とブラヴオが湧き起こった。

下野は「今日は8月9日(長崎原爆の日)です。プーランクの歌曲《平和のために祈りください》を私が編曲したものを演奏します」と告げ、深い祈りの作品を日本フィルと共に心を込めて奏でた。ソロ・カーテンコールではコンサートマスター扇谷泰朋と二人で現れ、温かな拍手を受けた。

(音楽評論家 長谷川京介)



指揮：下野竜也 チェロ：宮田大

## ご来場者の声

いやはや…下野・日フィルコンビの表現力に圧倒されました。小山清茂の「謡歌」は(中略)夏祭りがそこかしこで行われるこの季節にぴったりな選曲！サン＝サーンスのチェロ協奏曲は宮田大のあたたかくて包容力のある深い音色にうっとり…。そして、ボヘミアの風光明媚な景色が目に浮かぶような、下野さんの魅力全開のドヴォルザーク8番。会心の一撃をくらいました。最高ッ！(20代・のだめ)／生涯で聴いた中で、一番良いドヴォルザーク8番だと思いました。(50代・会社員・isiisimusic)／下野さんのプレトーク、サゲが見事でした。(50代・会社員・小籠包博士)／今年もホットなサマミュ！特に下野マエストロのプレトークはウルトラ・ホット！！「好きだ〜」から最後はピアノシモになる格好よいドヴォルザーク……。私もドヴォルザークと下野さんと乾杯したいな。熱い川崎で。(50代・医療関係者・まさち)／子どもが大きくなり、この連休おひとり様時間を手にしたので、都内に行くことを決めました。1人じゃないとできないことを考え、10年以上ぶりにクラシックコンサートに行くことに決めると、今日のコンサートを知りました。ドボ8は大学から始めたオケで弾いた思い出深い曲、しかも宮田大さん、チェロ弾きにとっては最高の演目です。1曲目は初めて聴く曲でしたが長野在住の私にとってはとても縁ある曲で、今日のコンサートに運命を感じずにはいられませんでした。(後略)(30代・のりこ)

フェスタ・サマーミュージック KAWASAKI 25 明日の公演情報

## 東京交響楽団 フィナーレコンサート 慶太楼が贈る、不滅の作曲家たち

8/11 (月・祝)15:00開演 (プレトーク14:20～)

指揮：原田慶太楼(東京交響楽団 正指揮者)  
ヴァイオリン：服部百音\*

■芥川也寸志：八甲田山(1977) ■バルトーク：ヴァイオリン協奏曲第2番\*  
■ニールセン：交響曲第4番『不滅(滅ぼし得ざるもの)』



原田慶太楼(指揮)  
服部百音(ヴァイオリン)



S席 完売  
A席 完売  
B席 4,000円  
U25 (B席のみ) 2,000円

TEL・WEB予約 当日 13:00まで  
当日券カウンター 14:00より

コンサートと一緒に  
もうひとつのお楽しみ!

# PARTNER SHOP

参加店舗  
7/26(金)～8/11(月)

掲載店一覧はこちら

↑サービス対象店舗はこのPOPが目印!  
優待チラシは7/26～8/11まで  
何度でも利用可能です♪

## ミュージザのお薦め

“ドラムスの神様” スティーヴ・ガッドが  
ミュージザに再降臨！

川崎市全域で、9月15日(月・祝)～11月23日(日・祝)に多彩なイベントを開催する「かわさきジャズ」。

ミュージザ公演は、2年前に大好評だった「スティーヴ・ガッド BHG(Blicher Hemmer Gadd)プロジェクト」が再登場！

今年はなんと、メンバー全員が80歳(スティーヴ・ガッド)、60歳(ダン・ハマー)、50歳(ミカエル・ブリチャー)と節

目の年齢を迎える記念イヤー。昨年の10周年ツアーのようが収録されている新譜「Moment Like These」(10月リリース予定)をひっさげて、ますます充実のプレイを聴かせてくれることでしょう。

80歳でありながら世界最高峰のドラマーであり続けるガッドが率いる、トリオの極上の音楽。「このホールは私がこれまで演奏した中で最も美しいホールの一つ」(S.ガッド談)と語るミュージザでご堪能ください。(事業企画課・さ)



左から、ダン・ハマー  
ミカエル・ブリチャー  
スティーヴ・ガッド

かわさきジャズ2025  
スティーヴ・ガッド BHGプロジェクト

2025. 10.29(水) 19:00開演

ドラムス:スティーヴ・ガッド  
サクソフォン:ミカエル・ブリチャー  
ハモンドオルガン:ダン・ハマー

全席指定 ¥4,000  
U25(小学生～25歳) ¥1,500

公演詳細はこちら



曲目は当日の  
お楽しみ!

チケット購入者限定イベント

トーク&ミニライブ開催決定!

「80 STRONG by Steve Gadd」

10/28(火)19:00～

※要事前申込。9/28(日)〆切

SNS映え  
おすすめスポット



PHOTO SPOT

ミュージザ川崎1階 ガレリア広場  
#サマーミュージザ



パートナーショップのご紹介  
エンジョイ!  
川崎!!  
Enjoy Kawasaki



柔らか四万十ポークとレタスの  
特製胡麻ダレ冷麺 1,700円(税込)

## 季節のうつろいを中華で感じる

今回は一番人気!という季節メニュー「柔らか四万十ポークとレタスの特製胡麻ダレ冷麺」1700円をオーダー。

ほかほかの蒸籠の中には、こんもりと盛られたレタスの上に、四万十ポークの豚バラがみっちり鎮座。特製胡麻だれにからめていただくと、ジューシーなお肉と豚の脂がほどよく沁みたシャキシャキのレタスが口福のマリアージュ。胡麻だれ冷麺も香り豊かで濃厚なお味、辛いもの好きとしては赤いガンラー(唐辛子調味料)を散らして、ふわりと四川のアクセントを加えるのも好みでした。

平日の12:30というお昼どきでも、ゆったりと過ごすことができました。個人的には名物の重慶式麻婆豆腐、選べるプリフィクスランチも推したい! (広報・YK)

## 過門香點 (かもんか てん)

C ホテルメトロポリタン 川崎

パートナーショップ特典

ミニ杏仁豆腐サービス

※「優待チラシ」持参者および同伴者  
※営業時間内は終日可

フェスタサマーミュージザ公式サイト  
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

#サマーミュージザ

で検索&投稿

お待ちしております!



X: @summer\_muza

Facebook: @kawasaki.sym.hall

Instagram: @muzakawasaki

YouTube: @kawasakisymhall

「編集部注」来年2月には「展覧会の絵」や、ロックやジャズの名曲をオルガン×ジャズピアノで聴ける機会もございます……! ↓↓↓



「展覧会の絵」を最初に認識したのは、エマーソン・レイク・アンド・パーマーだった。彼らは他にもクラシックの曲を多数取り上げていた。逆に、ロックの曲(例えばキング・クリムゾンとか)をクラシックの演奏家さんが演奏することもあるな、などと思ったり。さて、ジャズといえば、自分のおじさんからもったレコードの中にあつたピアノリストのデイク・ブルーベックのデイク・ファイブ(作曲はポール・デスマンド)。4拍子しか知らなかったから、なんだこれ?となった。デイク・ブルーベックも、幼少時母親から、クラシックの教育を受けていたとの事。海外ではクラシックが、生活の中に普通にあるのかなと思った。(舞台・SK)

スタ  
ツ  
フ  
日  
誌